

江南YEG広報誌

ONE UP!

07
2019

事業報告：6月体験事業（総務委員会）

県連出向者報告

伊藤 準（研修委員会）

エッセイ：日々を綴る

内田吉信、田中弘一郎、福田壽哉

6 月体験事業（ボルダリング体験）

日時：2019年6月18日 19:00～

場所：魚動クライミングジム2

担当：総務委員会



会長挨拶 入川信夫

東京オリンピックが近いこともあり、連日スポーツのニュースで賑わっております。スポーツ選手にとって大切な能力の一つに「空間認識能力」というものがあります。これは、物の位置や大きさ、間隔を瞬時に判断する能力です。この能力は、優れた経営者にとっても必要される能力です。皆さんも業務の中でおこる問題を、その場に応じて瞬時に対応をするという機会が多々あると思います。これは「空間認識能力」と同様に、状況を瞬時に把握し、その本質を見極めて答えを出し、行動に移すという能力です。本日の例会で体験いただくボルダリングでは、その空間認識能力も養われます。ボルダリングでは無計画に登ることは不可能で、登る前に登るべきコースや手足がかけられる位置を判断し、ゴールへ向かうことが重要です。空間認識能力というものを強く意識して、体験事業に臨んで下さい。



委員長趣旨説明 原園猛

今年のスローガンでもあります「挑戦」という文字から、2020年の東京オリンピック競技でもあるボルダリングに挑戦していただきたいと思います。ボルダリングは体力や筋力で登るものではありません。目標の設定、ルートの計画が重要なのです。ボルダリングに挑戦いただくことで、身体と頭を鍛え、青年経済人としての能力を高めていただきたいと思っています。

ボルダリング体験

クライミング歴8年の後藤雅哉インストラクターに指導いただき、ボルダリングスタート！ボルダリングはクライミングの種類の一つで、他には岩を登るロッククライミングやロープをつけたルートクライミングがあるそうです。ボルダリングの特徴としては、安全器具は無し、手にチョーク（粉）をつけて高さ5mくらいの壁をホールド（色のついた石）に手足をかけて登るといふものです。



指導して下さったインストラクターの後藤雅哉さん

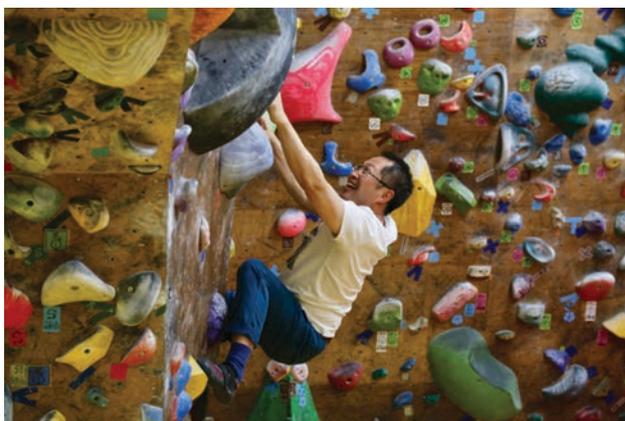
意外にも！？初級コースとはいえ、スイスイと登って行くメンバー。さすが青年経済人、身体も頭も



この角度アリですか！？

日頃から鍛えられているからでしょう。体験してみてもわかったのは、筋力よりも体のバランスの取り方やコース設定が重要だということでした。まさに空間認識力を必要とされるスポーツだと思いました。ゴールまで手が届いた時の達成感が何とも言えず、メンバーもハマってしまったのでは？

参加されたメンバーは、漏れなく翌日の筋肉痛に悩まされたことでしょう。



三輪さんのすばらしい表情！楽しさが伝わってきます！

2019年度 出向者報告



県連・研修委員会 伊藤 準 (地域活性委員会)

本年度、愛知県連の研修委員会に副会長として出向しております。同じ委員会には、山之城さんと桑山さんが一緒に出航しており、ともに意見を交わしあいながら毎回切磋琢磨して楽しんでおります。



本年度、愛知県連の研修委員会に副会長として出向しております。同じ委員会には、山之城さんと桑山さんが一緒に出向しており、ともに意見を交わしあいながら毎回切磋琢磨して楽しんでおります。

研修委員会では、主にYEGDAYの開会式、基調講演・分科会を担当しており、果たす役割も多く、それゆえ大変やりがいのある委員会であると思います。その他に交流委員会と広報委員会が県連にあるわけですが、それぞれが大きな役割を果たし、YEGDAYの成功という一つの目標にベクトルを合わせ研鑽しております。



愛知県下20の単会をめぐって委員会が開催されるわけですが、ただ大変だけではなく、各地にいる仲間達との出会いや各単会の運営の違いに気づき、それを江南YEGに持ち帰ることによって、よりよい絆が生まれることと思います。

我々、出向者メンバー一同、本当に頑張って各地で奮闘しております。「頑張れよ!」の一言がどれだけ我々の力になるか計り知れません。YEGDAY楽しみにしていただき、ぜひご参加ください!!

案内：7月家族例会

場所：八曾の里

岐阜県多治見市北小木町332

日時：7月28日(日) 10:00~15:00

担当：研修親睦委員会

登録料：メンバー5,000円

家族(成人1,000円、成人未満500円)



研修親睦委員会
委員長 増田 央

おかげさまで、メンバー45名、ご家族26名がご参加いただけとなりました。当日は、私が釣った天然アユを振る舞いたいと思っております!まだ滑り込み参加できるかも!? 小松or増田にご相談ください!!

案内：阿波おどり練習会

場所：江南商工会館 1Fホール

日時：7月24日(水) 19:00~21:00

7月30日(火) 19:00~21:00

担当：地域活性委員会

案内：阿波おどり大会

場所：江南商工会館 1Fロビー集合

日時：8日3日(土) 17:30~21:25

担当：地域活性委員会



出欠席の回答は

7月15日(月)までに必ず

事務局(小松)へ御連絡下さい。

facebook (会員限定)にて写真・動画の活動報告をしています。
登録方法は担当鈴木馨または各委員長まで

ONE UP! 7月号 発行日：2019年7月16日 (毎月第3火曜日)

担当記者：鈴木馨、伊藤 宏

編集・発行 江南商工会議所青年部 広報・渉外委員会
〒483-8223 江南市古知野町小金 112
tel.0587-55-6245 fax.0587-54-9141
URL <http://www.konan-yeg.com/>

ひびつづ 日々を綴る

仕事、家庭、趣味、e t c...
江南YEGメンバーの自由なエッセイ

エッセイの投稿を募集しております（タイトル、文章500字以内、写真1枚とそのコメント1行）



YEG活動って...

内田 吉信 (副会長)

「居場所がないな...」江南YEGに入会した後、初めての委員会に参加した時の感想です。当時、「地域の経営者の方々と交流を！」と強く思い、同業種の方に頼んでYEGの門を叩きました。

私自身、一宮出身ということもあって、当然知り合いは0に等しく、他のメンバーに話しかけることもままならない感じでのスタートでした。当時の委員会では、委員長が毎月のように炎上し、その姿を見て「絶対に自分はやらないぞ！」と心に強く思いながら過ごすこと早7年。有難い事に【幹事】～【運営専務】までしっかりと経験させて頂きました。そのお陰もあり、役を引き受けさせて頂くたびに、想いを共有し、年

齢を問わず何でも話し合える仲間がどんどん増えていきました。今では、そんな皆さんと一緒に遊びやゴルフ・旅行にカラオケ、更には毎月開催されている青年部活動とは別の団体？《石〇会》（ご卒業された先輩方も含む）にも参加させて頂き、自分の日頃のストレスを発散しています。【仕事】という枠を超え、【人と人】としての付き合いの大切さを委員会や様々な例会事業等の活動を通し、皆さんから学ばせていただいていると感じています。

卒業まで今年を含め残すところあと2年。これからも積極的にYEG活動に参加し、様々なことを一緒に楽しめる仲間を増やしていきたいと思っておりますので、皆様、今後ともよろしくお願いたします。



石〇会の皆さんと



なぜ山に登るのか

田中 弘一郎 (広報渉外委員会)

2017年から山登りを始めて約2年間で32座に登りました。「日々を綴る」がテーマですが、1年で16座、仮にシーズンを約4か月と仮定して、その間は毎週ということでお許し下さい。きっかけは青年部の委員会、とあるメンバーと家族旅行で行った木曾駒ヶ岳について話した事です。その時は登山目的ではないので途中で引き返しました。現在は青年部の中にも6人ほど（その気になれば）一緒に登ることのできるメンバーがいます。山頂まで行くのに平均3時間くらいですが、はっきり言って長いです。今、ここで「3時間普通に歩く」事を想像してみてください。その3分の2は階段もしくは登り坂です。引き返そうかと思う事もし

ばしばあります。実際に登山目的で向かった山では引き返した事はありません。メンバーの中にも山に登る目的は色々あります。健康維持で体を鍛えるため、あるいは山頂でおにぎりを味わうため、美味しいです。本当に自然の場所です。当然ですが危険な場所もあり、スリルを味わう事が目的の人もいます。これらを含めて全ての山登りをする人間に共通する目的は、山頂での絶景を見るためではないでしょうか。昨今、山の写真をインターネット上でいくつも見る事ができます。その分野では素晴らしいものです。しかし、それは山岳写真として素晴らしいのであって肉眼で見る景色はまるで別物です。これを求めて皆さん山に登ります。ここで、山岳部のメンバーは随時募集しておりますので、是非お声がけくださいね。



燕岳から見た北アルプス



理想の父親像

福田 壽哉 (総務委員会)

タイガーウッズが高校の頃の話です。友人関係で悩みがあった彼は、父に相談に行った。父は、その時大好きなアメフトをテレビで観戦中だったが、声をかけると「大事な話かい？」と確認をとった上でテレビを消し、タイガーの正面に向き直った。そして話を聞き、ひとしきりアドバイスを述べた上でこう言った。「これは父さんの意見だ。母さんにも相談した上でどうするかは自分で決めなさい」それから数年後、プロになったタイガーは練習中におけるキャディからの問いかけ、つまりビジネスの場においても「それは大事な話かい？」と聞き、そうであればその手を止めて話を

聞くのだとか。

このエピソードだけでタイガーの父がいかに妻や子を大切にしていたのが解りますし、その姿勢が相手からの尊敬につながっていくのだと思います。私がこの話を聞いたのは20年程前ですが、私の中で理想の父親像のひとつとして記憶に残っています。私の子供達がそんな話をしてくるまで、まだ数年はかかりそうですが、その時に「後で聞くわ」と言うような父親や、タイガーウッズ本人のような夫にならないよう、これからも家業に邁進していこうと考えております。



円満の秘訣は、「ありがとう」と「ごめんなさい」